

平成17年6月25日  
第15号

# 素流協 News

平成17年6月25日発行・発行所 岩手県素材流通協同組合 盛岡市菜園1丁目3-6/電話019(652)7227/FAX019(652)7227

## 新事業 「国有林材の

## 安定供給システム」に参加！

岩手県素材流通協同組合は、平成十七年度の新規事業として、「国有林材の安定供給システム」による素材販売に関する協定を五月二十四日付けで東北森林管理局と協定を結んだところである。この「国有林材の安定供給システム」に基づく立木と素材の販売については、従来から実施されている制度であるが、岩手県下に所在する合板工場に対して国有林材で生産された素材をこの制度によって供給するのは初めての試みである。この国有林材（素材）を県下の二つの合板工場に供給する仕組み・内容の概要を述べてみる。

態の骨格は、森林管理署が素材を生産↓素材流通協同組合が素材を合板工場まで運搬↓合板工場が運搬された素材を引き取り、という流れである。

(3) 生産された素材は、山元で素材流通協同組合（以下、素流協という）が当該森林管理署から購入し、それ以降の合板工場までの素材の運搬・引渡しに係る部分はすべて素流協の責任で行い、素流協と合板工場との間では引き渡した素材材積とあらかじめ両者間で決めている一般の売買価格に基づいて月単位で売買に係る決済を行うこととする。

この協定に基づく「素材システム販売事業」を円滑に進捗させるためには、素流協の果たすべき役割はきわめて重要になるが、本年度の当事業は素流協として初めての取り組みなので綿密な計画に基づき慎重な実行を心掛けることにする。そして、事業実行経過の中で、改善・修正する事案が出てきた場合には、関係者、すなわち、森林管理局・森林管理署、合板工場、素流協が直ちに意思の疎通を行って、改善策を講じつつこのシステム販売における素材流通の仕組みの適正化を図っていく考えである。

(1) まず、東北森林管理局と岩手県素材流通協同組合・合板工場との間で平成十七年度の素材の安定供給に関する協定を締結する。

(4) 今年度におけるこの制度に係る供給総量は、二二、三〇〇m<sup>3</sup>（ホクヨープライウッド一六、五〇〇m<sup>3</sup>、北日本プライウッド四、八〇〇m<sup>3</sup>）である。

(2) 素材の安定供給についての形

(5) 素材を生産する森林管理署は、

秋田県、青森県、岩手県の三県に所在する十二森林管理（支）署にまたがっている。

(6) 素材の樹種は、スギ、アカマツ、カラマツの三種で、径級等の規格は、森林整備に伴って生産される間伐材が主体となるので、長級一・九五m、径級二〇cm以下といった小径・短尺材が圧倒的に多くなる。

# 国産材の流通について

## もの申す (その1)

高橋 早弓

### 1. 国産材製材品の流通 (仕入、需要) の現状と課題

先に行われた、総理府による「森林とみどりに関する世論調査」によると、国民の八割が木造住宅を希求しているといわれております。木造住宅と一口に言っても、在来軸組み工法、ツーバイフォー工法、プレハブ工法の三種類の住宅に大きく分けられます。この中で国産材の使用比率が唯一高いのが在来軸組み工法による住宅であり、他のツーバイフォー住宅ではカナダ産SPF(スプルース・パイン・ファー)のデイメンションラバーといわれるもの、プレハブ住宅ではカナダ産SPFや北欧産のホワイトウッドのメトリックサイズ(ミリ立て製品)が主に使用

され、まさに輸入材住宅です。

過去に遡って十五年前から現在までの新築住宅のシェアの傾向をみると、残念ながら在来軸組み工法だけが減少しつづけております。加えて、在来工法の中でも伝統的な柱を見せる眞壁工法は一割のみで、残り九割が柱の見えない大壁工法によるものであり、和室の減少も誰もが認めるところです。また、杉のタルキ、胴ぶちなど国産材が優位とされてきたいわゆる葉柄材に関しても近年では北米、北欧、ロシアからの人工乾燥を施し、プレイナー(かなな)がけをされた輸入材がシェアを伸ばしており、間柱などは早くから輸入材に取って代わられ、今では乾燥材はもちろんフィンガージョイント(縦継

ぎ集成)材やLVL(平行合板)のものまで使用されるようになってきます。

構造材に関しては、さらに輸入材の比率が高く、大壁用の柱はホワイトウッドの集成材があたりまえのようになっており、眞壁でも杉やヒノキのつき板を張ったホワイトウッドの集成材が増えております。母屋、桁、平角のたぐいは米つがや米松の一等材が使われ、米松の人工乾燥材さらには米松あるいはホワイトウッドやレッドウッド(欧州赤松)の集成材も徐々にではあるが増える傾向にあります。特にこの傾向が顕著になったのは、住宅の品確法の施行によって乾燥材や集成材への移行を促進させたものと見てよいと思います。

昨今のように製品に対する需要の移り変わりが早い中で、原料(原木)の安定した品質と供給を確保できるかどうか木材製品の生産にとって最大の課題ではないでしょうか。

2. 機械プレカット、乾燥材、防

### 今月のトピックス

#### 素流協より

今年五月、左記の方が新たに素流協の会員となりましたのでお知らせいたします。

一、住所 岩手県江刺市八

日町二丁目三十九

会社名

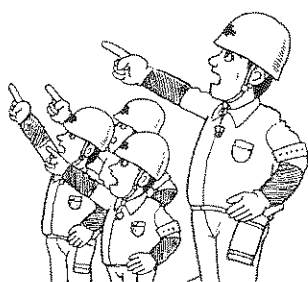
有限会社 津田商店

代表取締役

津田 マサノ

入会日

平成17年5月16日



ゼロ災でいこう

ヨシ!

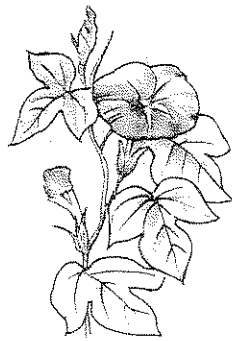
さあ、「林材業ゼロ災運動」に取り組もう!!

## 腐処理材に関する需要動向と国産材製材品に対する対応

住宅品質確保促進法、いわゆる品確法のスタートにより住宅の十年保障や瑕疵保証制度が始まり、さらに住宅の性能表示制度への具体的な対応として機械プレカットの利用や乾燥材および防腐処理材の使用は確実に増加しております。全国木造住宅機械プレカット協会の調査によると、木造軸組工法住宅における機械プレカットの利用割合は平成二年の一割から平成十四年には六割に達しております。これは品確法の施行という理由だけではなく、大工職人の減少や工期短縮のための対応策として機械プレカット利用が増加しているのです。㈱住宅生産団体連合会が行なった住宅の生産性現況調査によると、機械プレカットを利用した場合の一坪あたりの人工数は五・六三人工で、手刻みによる場合は八・九八人工という数字が公表されており、ちなみに、ツーバイフォー工法では五・四七人工となっております。

ます。

機械プレカットの場合、曲がり材を嫌うため乾燥材や集成材の使用比率が高まるわけです。グリーン材（未乾燥材）から乾燥材や集成材にシフトすることによって、材料費のコストアップは避けられないが後々の保証やアフターケアを考えるとけっして高くはないという計算になるようです。しかしながら、プレカット工場で加工されている乾燥材や集成材は大半が外国産であるのが実態であり、国産材使用を促進するためには、まず、原木の安定した品質と即納体制の整備が急務であると考えます。



連載しております「ヒロシの独白」は、都合によりお休みいたします。

## お知らせ

### 1. 送状の記入について

現在、素流協では請求、支払いをはじめとする仕入れ販売管理のためのパソコン用ソフトを新たに導入し、ソフトでの管理を充実しつつある状況です。

つきましては、ソフトでの管理上、今後、送状に記入する日付けは、合板工場への納入日を記入してください。あらかじめ記入した日付と、実際の納入日が異なった場合は納入時、合板工場に送状を渡す前に訂正してください。工場側の受入月日は、丸太の荷下し月日としていることから、月のメ切に相異が生じております。

送状を作成する運転手さんにも、周知徹底をよろしくお願いいたします。

### 2. 丸太の納入時間について

6月末にFAXでお知らせしましたが、合板工場への丸太の納入時間は従来8:30～17:00となっておりますが、日も長くなりましたので、今後当分の間7:30～18:30といたします。ただし、時間外は受付できませんので注意してください。なお、荷下し場所は必ず確認の上、荷下ししてください。

落穂拾い

過日上京した折に、筆者は靖国神社を参詣した。昨年は八月十五日に、今年に入ってから正月元旦に参詣したのであるが、今年の八月十五日に上京して靖国神社参詣ができるかどうか分からないので、今回上京した折に靖国神社に足を

労働災害の防止について

1:29:300の法則

梅雨明けも間近といわれていますが、高温・多湿の中での林業労働は作業員の方々の体力消耗もかなりきびしいものがあると思われます。最近、作業員の方が「怪我をした」という情報が頻繁に入っています。上記法則は、1件の重大災害発生の際には、29件のヒヤリ・ハットの発生があり、またその際には300件の軽微な災害が発生しているといわれている法則です。

軽微な災害でも重大災害への一歩という考え方で、労働安全に取り組んでいただきたい。

平成17年5月の販売実績

ホクヨープライウッド㈱、北日本プライウッド㈱の2社に出荷した合板用丸太の平成17年5月の販売実績は下記のとおりです。

5月の北日本プライウッド㈱への出荷は先月の過去最高をさらに上回る2,858㎡となり、3ヶ月連続して増加しており、3,000㎡に手が届きそうです。2社合計では6,108㎡となり、2ヶ月連続して6,000㎡を超えました。

項目	長級	径級	販売先		計	累計	出荷割合	
			ホクヨープライウッド㈱	北日本プライウッド㈱			樹種毎	樹種毎
樹種	m	cm	㎡	㎡	㎡	㎡	%	%
スギ	1.9	14上	1,044	1,249	2,293	4,898		59.8
	4.0	14上	712	891	1,603	3,290		40.2
	計		1,756	2,140	3,896	8,188	64.8	100.0
カラマツ	1.9	14上	941	436	1,377	2,847		97.7
	4.0	14上	9	30	39	66		2.3
	計		951	465	1,416	2,913	23.0	100.0
アカマツ	1.9	14上	473	221	693	1,388		90.1
	4.0	14上	70	33	103	152		9.9
	計		543	253	797	1,541	12.2	100.0
サワグルミ	1.9	18上			0	0	0.0	100.0
合計			3,250	2,858	6,108	12,641	100.0	100.0

運んだのである。普通の日であるのと早朝であるということもあって参詣人は少なかった。手水で口をすすぎ、手を清めて、本殿の正面階段を昇ってゆっくりと参拝した。八月十五日や正月には神社境内は参詣人に満ちあふれており、本殿に到達するまでに人波に揉まれて後から後から押しまわられるから進むという状況で、ゆっくりと参拝できない羽目におちいることを覚悟しなければならぬのであるが、今回のような普通の日も参詣には落ち着いた形で行えるよさがある。それにしても、わが国内外からの「靖国神社参拝反対」の大(？)合唱で、小泉総理大臣はたいへんであるア。それでも、筆者の心根は、**「小泉総理、行け、行け！頑張れ、頑張れ！」**である。

小さな火 山に捨てると 大きな火

(平成17年度全国山火事予防運動統一標語)

春は空気が乾燥して、風の強い日が多いため、山火事の起こりやすい季節です。山火事はそのほとんどが、人の手によって発生しています。山火事防止は皆さん一人一人の小さな心がけから始まります。山の緑を火災から守りましょう。皆さんのご協力をお願いします。